

心はランニング

NO.57

令和2年12月1日発行

土佐塩の道
トライアスロン・マラソン



9月定例会

- ◎ 議案質疑P2
- ◎ 審議した議案P6
- ◎ 一般質問P7
- ◎ 各委員会の開催状況P20
- ◎ 特集記事P21

発行 ● 高知県香南市議会
発行人 ● 高知県香南市議会議長

令和2年 香南市議会9月定例会



議案質疑

9月定例会は、9月2日から9月24日まで開催された。

専決処分等の報告4件、令和元年度香南市一般会計決算認定、令和2年度香南市一般会計補正予算(第6号)、香南市野市町水源対策委員会設置条例の一部を改正する条例など27議案が審議された結果、令和元年度香南市一般会計決算認定を含む各決算認定9議案については、決算審査特別委員会に付託し継続審査となった。その他の議案はいずれも全員賛成により可決された。主な質疑の内容は以下のとおり。

議案第82号

香南市野市町水源対策委員会設置条例の一部を改正する条例

問 補助金対象の拡大か

水源対策事業費補助金要綱で野市町の水源対策委員会の行う事業が補助金の対象として規定

されているが、補助金の対象の拡大か。

答 野市町5地区を対象

岡林 商工観光課長
現在のところ、野市町5地区の水源対策委員会を対象とし、拡大はない。

問 特化した条例に

新たに特化した議案第89号、議案第90号との整合性が出てくるが、工業用水だけに特化した条例に変えるべきでないか。

答 変える検討をしたい

岡林 商工観光課長
香南市工業用水水源対策委員会とした方が分かりやすく良かった。折を見て変える検討をしたい。

議案第89号

香南市地下水保全条例

問 水源涵養林対策は

答 市の責務として

寺内 環境対策課長
今回の条例に水源涵養林対策は具体的に規定していないが、第4条で市の責務として、地下水の保全は総合的、広域的かつ計画的な施策を実施する。

問 把握しているか

吉川村地下水保全条例の制定以前の施設で、この条例に縛られない施設の数、使用水量を把握しているか。

答 確認しよう

寺内 環境対策課長
数は把握していない。また、測っていないということ、使用量も分からない。今後はどれくらい使っているか確認したい。

議案第90号

香南市水道水源保全条例

問 見直すか

第8条の事前協議はどのよう

に行つか。また、第13条の罰則規定は見直すか。

答 協議をしながら行っていきたい

北川 上下水道課長
水道水源保全地域を水源地から半径200m以内としており、家を建てたり、井戸を掘る場合は、事前協議が必要となる。

地方自治法第14条の第3項に普通地方公共団体は、条例に違反した者に対し、5万円以下の過料を課する旨の規定を設けることができることされており、この金額を規定しているが、今後は協議しながら見直しも行っていく。

議案第91号

香南市小中学校情報機器購入業務契約の締結

問 策定状況は

ランニングコストを含む整備計画及び有効活用計画の策定状況は。また、現在使用しているパソコンの今後の使用予定は。

答 研修・支援体制の整備を計画

三木 学校教育課長

ランニングコストを含む長期的な計画は検討中であるが、ICTを指導する目的を学校に伝え、教職員がICTの良さや効果を実現できる研修、支援体制の整備を計画。現在使用しているパソコンは一人一台端末が配られた後も併用して使っていくが、リース期限が来た後は、ソフットの導入など使用方法の検討をしていく。



議案第93号

令和2年度香南市一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ7億7341万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ24億9911万6千円とするもの。

問 取り壊して調査を

プールを新築するのであれば取り壊してから、地質調査をするべきでないか。

答 改築設計の前に必要

山下 教育次長

改築設計の前に必要であり、プール周辺で地質調査できると考えている。



問 数社から見積もりを

香我美小学校プールの改築事業費として2750万円計上している。見積もりは1社だけではなく、数社からとるべきであるが、その経過は。

答 2社に意見を聞いた

三木 学校教育課長

予算の見積もりでは、1社のみであったが、8月で2社に現地を見てもらい、築44年経過のプールの部分改修は保守安全面で保障できないとのことであるため、全面改修となった。

問 必要か

修学旅行キャンセル料助成事業の要綱「第10条決定の取り消し」、「第11条補助金の返還」は必要か。

答 削除する

三木 学校教育課長

市の補助金交付規則を根拠として、規則の第18条に決定の取り消し、第19条に補助金の返還

が規定されており、要綱の第10条・第11条は削除する。

問 指定したか

外国語の民間委託で教育委員会としての点を重点的にプロポーザルの中で指定したか。

答 プレゼンをして決定

三木 学校教育課長

外国語指導助手業務委託業者の選定委員会を行い、業者にプレゼンしてもらい、業者を決定したい。金額だけでなく、人材育成のプログラムが充実しているか、派遣期間のフォローが充実しているかを考慮して決定するため、プロポーザル方式をとっている。

問 委託料の根拠は

夜須認定こども園の建築設計委託料の積算根拠は。

答 仕様書を参考に

前川 こども課長

委託料の根拠は、敷地面積5

千㎡、床面積を1500㎡で積算している。参考資料として、公共建築設計業務委託共通仕様書、建築設計委託業務特記仕様書を参考に積算している。

議案第98号

香南市小中学校タブレットPC充電保管庫購入業務契約の締結

問 タブレット本体の入札と充電器を分けた理由は

答 備品購入費に

山下 教育次長

校内通信ネットワーク整備事業の中では、充電器は備品の管理となり、備品購入費に当たるため、タブレット本体とは別の物品として契約を行っている。

産業建設常任委員会審査

6議案が付託され、審査した結果、いずれの議案も原案のとおり可決すべきものと決定した。主な質疑内容は、以下のとおり。

議案第82号

香南市野市町水源対策委員会設置条例の一部を改正する条例



野市町第一水源地

問

第3条の組織の規定において、第2号の農林業関係者の中に、内水面漁業者は入っているか。また、第3号として、市長が必要と認める者も

委員に委嘱できるとあるが、今まで委嘱された者がいるか。

岡林 商工観光課長

答

現在に入っていない。また、市長が必要と認めて委嘱した者はいない。

議案第87号

香南市直販所・共同加工施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

問

地場産品を販売するのに、選定する際に扱う量などの基準はあるか。また、農協や市場などの協力が必要と考えるが、マニュアル等はあるか。

岡林 商工観光課長

答

直販所なので地元からの作物を扱うが、数字的な量で判断するわけではなく、計画書を見て総合的に判断する。会員の集め方は、いかに地元への働きかけをするかも評価ポイントになる。また、支援はするが、指定管理者が努力することになる。

議案第88号

香南市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例

問

占用料の金額について、香美市や南国市と額の違いがあるがどのように決めているか。

野島 建設課長

答

市町村合併時の政令を参考に条例で定めており、額が違うものについては土地の時価に係数を乗じて得た額となっている。

議案第89号

香南市地下水保全条例

問

廃止する吉川村の地下水保全条例には、取水量の報告義務のほか測定器の設置義務や取水量の記録義務があるが、本条例により協定書で規定するべきでは。

寺内 環境対策課長

答

各地下水採取者において量水器を設置することは難しく、ポンプの容量が分かれば時間単位で水量が推察できる

と思われるが、引き続き調査し考えていく。

問

吉川の条例には第1種規制地域と第2種規制地域に取水基準を分けている。赤岡地域は塩水化問題があり、基準を分けることも検討課題では。

寺内 環境対策課長

答

水道の水源の20メートル以内は制限がある。様子を見ながらにはなるが区域も選定するように考慮していく。

議案第90号

香南市水道水源保全条例

問

条例第3条で市の責務があり、水道水源の保全に係る施策とある。どのような施策か。

北川 上下水道課長

答

市の責務については、水質の汚濁防止及び水量を確保するため、水道の水質検査を実施し状況把握に努めている。

問

水源保全の施策として、森林の管理、間伐などがあるが、上下水道課だけでなく、農林水産課とか香美森林組合と連携していく必要性があるのでは。

北川 上下水道課長

答

住宅管財課が間伐工事を実施している。農林水産課、環境対策課や県にもそれぞれの方針があるので、関係課と情報共有しながら保全に取り組んでいく。

議案第92号

財産の処分

問

造成原価方式で計算されているとのことだが、当該土地の取得予算として、土地購入費1億200万円、役務費43万円、測量委託に300万円が計上されていた。本件処分金額と異なるが、造成原価方式について詳しく説明を。また、公募スケジュールの中に、選定委員会を開いて分譲候補者を選定し、市長に上申となっているが、選定基準は決まっているか。



川谷刈谷地区市有地

岡林 商工観光課長

答 今回は、土地購入を個人と公社の2者からしている。

土地購入費に加え、測量費・鑑定費・収入印紙など全部含めて約1億200万円を要し、これらの費用全額で売ればよいが、現状、お宮のところや一部道路となっている部分や加工場を取り壊した部分などが、売れる形状になっていないので、3カ所を取り除いて、9763万円という金額になっている。また、審査要領はできつつあり、中身として各委員の点数評価になるが、重要な点は製造出荷額の増加や新規雇用が評価になる。

教育民生常任委員会審査

8 議案が付託され、審査した結果、いずれの議案も原案のとおり可決すべきものと決定した。主な質疑内容は、以下のとおり。

議案第83号

香南市使用料条例の一部を改正する条例

問

福祉事務所跡にできる多目的室の料金は、面積で算定しているか。

猪原 生涯学習課長

答

部屋の造りが似ているふれあい室の広さを基準にしている。

議案第84号

香南市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

問

第38条に追加された保護者の疾病や疲労の基準は。

前川 ごとも課長

答

医師の診断書や福祉事務所の意見書に基づいて判断する。

断ずる。

問

第7条で連携施設の確保が緩和されるが、保護者の希望の基準や範囲は定められているか。

前川 ごとも課長

答

希望の範囲の規定はないが、保護者の希望により通わせたい市内の保育施設にする。

議案第86号

香南市赤岡保健センターの設置及び管理に関する条例

問

第6条の利用の許可に関して、利用者は香南市民に限るとしているが、市民かどうかをどう判断するか。

伊藤 健康対策課長

答

香南市民が優先的に使用できるものとしているが、市民以外の使用も認めていく考えで、市民かそうでないかを確認することは想定していない。

問

第9条では使用料は事前納付となっているが、納

付後に使用が中止になった場合は還付されないか。



赤岡保健センター

伊藤 健康対策課長

答

同じ地域の他の施設も事前徴収が原則となっているので、利用者の混乱がないようにそろえた。本条例でも還付ができるようになっており、利用の前日までに取り消しの申し出があれば、事前納付された使用料は還付する。なお、エアコン等の使用料は事後徴収としていきたい。

問

地域住民や市民という言葉や、使用料の納付方法など今後市全体で統一するよう検討するか。

答

時間はかかるが検討していきたい。

議案第91号

香南市小中学校情報機器購入業務契約の締結

問

数が多いので購入価格が高額になるが、メーカーはどこになったか。

三木 学校教育課長

答

国内の6社から選定した結果、NECのノートパソコンを購入することに決定した。

議案第94号

令和2年度香南市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

問

高額外来年間合算療養費払いはどのようになっているか。

恒光 市民保険課長

答

高額外来年間合算は、70歳から74歳の被保険者のうち2割負担の人で年間の世帯上限額14万4千円を超えた場合には返金される制度。対象世帯には申請書を送付している。

審議した議案

9月定例会の審議結果

- 専決処分の報告 (4件)
- 令和元年度香南市一般会計決算認定
- 令和元年度香南市国民健康保険特別会計決算認定
- 令和元年度香南市後期高齢者医療保険特別会計決算認定
- 令和元年度香南市介護保険特別会計決算認定
- 令和元年度香南市下水道事業特別会計決算認定
- 令和元年度香南市農業集落排水事業特別会計決算認定
- 令和元年度香南市漁業集落排水事業特別会計決算認定
- 令和元年度香南市水道事業会計利益剰余金の処分及び決算認定
- 令和元年度香南市簡易水道事業会計決算認定
- (以上9議案は決算審査特別委員会に付託し継続審査)
- 香南市野市町水源対策委員会設置条例の一部を改正する条例
- 香南市使用料条例の一部を改

正する条例

- 香南市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 香南市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 香南市赤岡保健センターの設置及び管理に関する条例
- 香南市直販所・共同加工施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 香南市下水道水保保全条例
- 香南市地下水保全条例
- 香南市小中学校情報機器購入業務契約の締結
- 財産の処分
- 令和2年度香南市一般会計補正予算(第6号)
- 令和2年度香南市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 令和2年度香南市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第2号)
- 令和2年度香南市介護保険特別会計補正予算(第2号)
- 香南市役所新庁舎外構・駐車

場整備工事(建築主体)請負契約の締結

● 香南市小中学校タフレットPC充電保管庫購入業務契約の締結

● 香南市使用料条例の一部を改正する条例
(全員賛成可決)

発議

● 「妊産婦医療費助成制度創設」を求める意見書
(全員賛成可決)

発議第3号

「妊産婦医療費助成制度創設」を求める意見書

〈意見書要旨〉

2016年、妊娠から子育て期にわたる切れ目ない支援を行う「子育て世代包括支援」の方針が決定され、児童福祉法の一部を改正する法律が公布された。

2018年12月8日には参議院本会議で「成育過程にある者及びその保護者並びに妊産婦に

対し必要な成育医療等を切れ目なく提供するための施策の総合的な推進に関する法律(成育基本法)が全会一致で成立し、全ての妊婦と子どもに、妊娠期から成人期まで切れ目のない医療・教育・福祉を提供する重要性が明記され、国や地方公共団体、関係機関には必要な施策を実施する責務があるとされた。

周産期医療の充実には、早期発見、早期治療が求められる。しかし、低出生体重児や早産、未受診のハイリスク出産が大きな課題となっている現実がある。切れ目ない医療が提供されるためには、全国すべての自治体で実施されている「乳幼児医療費助成制度」と同様の「妊産婦医療費助成制度」が求められる。

この制度は既に13道県16市町村で実施されている。高知県産婦人科医学会も、「少子化先進県」といえる高知県において、安心・安全な妊娠・出産の確立は絶対に必要なものであり、妊産婦の健康保持に医療費助成の制度は極めて有力な制度となり得る」と見解を述べている。

記

1. 「妊産婦医療費助成制度の創設」を求める。

問 成育基本法の趣旨と財源は。

答 成育基本法の趣旨は妊産婦等に切れ目ない支援を行うこと。財源については、所得制限を設けることも選択肢だが、ある程度自治体の負担も必要となると思われる。



市政全般についての

一般質問

9月定例会においては、12人の議員が一般質問を行いました。

それぞれの議員の質問事項は、以下のとおりです。

質問議員	質問事項	質問議員	質問事項
① 西内 治水 (8ページ)	1. 二級河川 夜須川の現状 と対策 2. 手結・住吉県立公園及び 手結記念港 3. 道路水路の安全対策	⑦ 宮崎 晃行 (14ページ)	1. 福祉施策 2. 窓口行政 3. 防災施策 4. 地域未来構想
② 濱口 涼子 (9ページ)	1. 新庁舎のスマート化・ スマートシティ香南市 2. 税金等の支払い方法 3. 聴覚障害者への見える 防災無線	⑧ 岡本 司 (15ページ)	1. 防災対策 2. 環境対策 3. 公園問題
③ 片山 透 (10ページ)	1. 香南市人生支援計画 2. 高齢者移動支援 3. 公金等取扱事務の 基本マニュアル	⑨ 樽本 富佐子 (16ページ)	1. 平和行政 2. 教育条件整備 3. ジェンダー平等社会の実現
④ 宮城 正樹 (11ページ)	1. 教育施設の維持管理計画 2. 交通安全教育 3. 防災士 4. 災害時のトイレ環境 5. 普通救命講習	⑩ 馴田 文雄 (17ページ)	1. 介護保険制度 2. 気候非常事態宣言 3. 空き地 4. 新型コロナウイルス 感染症対策
⑤ 山中 昭 (12ページ)	1. 住民自治 2. 防災対策 3. スポーツ振興	⑪ 北本 洋介 (18ページ)	1. 道路管理 2. 河川改修 3. 学校施設 4. 地下水保全
⑥ 小泉 潤 (13ページ)	1. まち・ひと・しごと 創生総合戦略 2. 市バスの運行	⑫ 土居 りえ (19ページ)	1. 高齢者施策 2. 防災減災施策

夜須川の維持管理



西内 治水議員

問 適正な管理の要望を

夜須川は、県の整備計画に入っているが、今後、採択へ向けて現状の国の状況では先送りが懸念される。今の堤防で何とか、10年、20年もたさなければならぬ。それには適正な管理が必要である。県に強く要望を。

答 県に要望する

野島 建設課長

現在、夜須川では土砂の堆積や、草や葦が著しく繁茂している箇所が点在し、河川の流下能力を低下させる状態が懸念されている。

さらに、近年の異常気象による豪雨や局地的集中豪雨等による河川の増水時には、平成30年7月豪雨をはじめ幾度となく被害を受けている。河川氾濫による流域の床上浸水や施設園芸等への浸水による甚大な被害も懸念されている。

抜本的な解決として河川改修が喫緊の課題である。昨年度までに河川整備計画の策定準備としての河川測量や改修計画等の作業を進め、令和3年度から令和4年度にかけて、地元説明や地元調整、詳細設計の作業に着手し、図面等の関係資料を作成することとしている。

ただし、河川改修完成までは長期間を要するため、日常の適切な維持管理を県へ要望する。

問 堤防工事は

市の管理の上夜須の大久保堰は高さがわずか約80cm。一方、県管理の堤防は、1m50cmぐらいの高さがある。県管理の堤防と同じぐらいの堤防はできないか。

答 提案したが断られた

野島 建設課長

農地災害復旧事業は、地権者に負担金が発生する。そのため地権者が申請を中止した。土羽にて復旧工事を市が行う提案をしたが、地権者から断られた。

問 構造物設置は

測量も終わっている。用地買収して市が構造物をつくり、災害の再発防止はできないか。

答 再度県と協議する

野島 建設課長

夜須川は県管理河川なので、市が勝手に構造物をつくることはできない。工事をするとすれば、高知県がやらないといけない。そういったことも踏まえて、再度県と協議していく。

記念港・手結内港

問 自然石に

石垣の隙間に石炭石を県が詰めたことにより、記念港（野中兼山による開港）の景観が台無し。自然石への取り替え等を県に要望できないか。

答 検討・協議する

小松 農林水産課長

県が既存の石積みの色と色違いの石を隙間に充填した。景観との調和も含め、今後の対応を検討・協議する。

問 安全対策を

手結内港斜道の危険な手すり4力所、斜道の路面滑り止め舗装5力所の安全対策を強く県に要望するべきでは。

答 地元や県と協議する

小松 農林水産課長

歴史的価値のある港湾施設。周辺との景観調和を含め、改善方法を地元や県と協議し、状況に応じた要望する。



手結内港斜道

道路水路の安全対策

問 件数は

市道、林道で、管理が原因で補償に至った件数は。

答 合併以来15件

野島 建設課長

平成19年から令和元年まで15件。うち林道は1件。補償金額の合計は159万4453円。

問 水路に転落し、けが、死亡した件数は

答 死亡10人

野島 建設課長

平成24年から令和2年まで軽症24人、中症11人、重傷11人、死亡10人。

問 転落事故の対策は

水路の転落事故は生命に関わる。特に野市町は水路が多く、道路が狭い。十分検討し、市民の安全・安心の確保を願う。

答 安全対策に

清藤 市長

道路管理者は、市・県含め多岐にわたる。危険箇所を丁寧に拾い、安全対策に取り組む。

問 パトロールの実施は

関係課の日常パトロールを含め、職員の通勤、生活圏エリアの情報提供を実施してはどうか。

答 把握に努める

野島 建設課長

建設課が行うパトロール等、市民からの連絡、教育委員会による通学路の合同点検等で危険箇所の点検を行っている。今後可能な範囲で危険箇所の把握に努めていく。

聴覚障がい者 支援



濱口 涼子議員

問 全聴覚障がい者宅へ見える防災無線を

2018年9月議会で質問した際、設置を検討するとの回答であったが、具体的な計画の進捗状況は。

答 進めている

岡嶋 防災対策課長

現時点では機器等決まっていないが、聴覚障がい者への情報伝達手段の確保は大規模災害時に備え、香南市防災情報通信管理システムの機能の一つとして文字による伝達システムの開通整備を進めている。



スマート 自治体化の推進

問 進捗状況は

令和2年度の香南市人生支援計画での幼年・就学期部会からの質問の中に本市の様々な申請がオンラインでできないかという質問があった。総務省も電子自治体を推進しているが、本市の進捗状況は。

答 県の推進計画に合わせた導入を検討

北村 総務課長

県が令和2年3月に策定した高知県行政サービスデジタル化推進計画に基づき、本市も取り組みを進める。県の計画では令和3年1月から運用開始予定となっている。本市としても協議し、検討する。

問 チャットボットの導入は

国の就業構造基本調査によると、高知県は約80%の女性が育児中にも就業している。庁舎の開庁時間に子育て世代を含む就業中の世代が問い合わせをすることは難しい。そこで、本市の

ホームページにAI機能が市民の質問に24時間答えるチャットボットの導入を検討してはどうか。

答 検討の必要がある

北村 総務課長

チャットボットは適切なシナリオや質問と回答ベースが必要であり、ホームページの改修も必要。導入目的や経費等、今後検討していく必要がある。

【チャットボット】

人工知能を活用した自動会話プログラムのこと。埼玉県戸田市のホームページで導入されており、24時間AIが質問に答えるシステム。



問 会議のウェブ化等は

仕事の効率化、新型コロナウイルス感染症防止の観点からの支所との会議のウェブ化、その他庁舎内のペーパーレス化は取り組んでいるか。

答 進んでいない

北村 総務課長

ウェブ会議は、感染拡大防止の観点から国や県及び県外事務所との会議には徐々に利用され始めているが、職員が利用する庁内ネットワークでは利用できない。また、ペーパーレス化は進んでおらず、依然として紙媒体を多く使い、保存する書類は減少していない。

高知県電子自治体推進協議会ワーキンググループにおいて、オンライン原則や添付書類の撤廃を実現するため、情報システム整備を検討する。

スマートシティの推進

問 公共施設の活用は

本市はIT企業誘致に積極的

に取り組んでいるが、各課の本庁舎移転後の吉川庁舎・夜須大峰の里等の本市所有の建物や、市内の空き店舗、空き家を積極的に活用したサテライトオフィスなどの企業誘致等、的を絞った移住促進計画の戦略は。

答 検討する

岡林 商工観光課長

首都圏に本社を置く事務系企業が本市の空き店舗等をオフィスとして活用する際に様々な用途に使用できる補助金を交付している。一方、現時点では空き店舗等のハード整備を本市が行って、貸し出すことはしていない。

企業側の意見として、市の公共施設や民間の空き店舗を市が借り上げ、改装等を行った上でサテライトオフィスやシェアオフィスとして貸し出してほしいとの声がある。今後の移住促進を進める上では「働くこと」と「住むこと」はセットにして取り組むことが有効であり、産業振興と移住施策は切り離せない。市での公共施設の活用も検討していく。

香南市 人生支援計画



片山 透議員

問 計画の決定 手続きは

これまで部会や策定委員会を傍聴してきたが、この香南市人生支援計画の決定手続きは。

答 部会から策定委員会 まで段階的に精査

岩田 地域支援課長

現在の人生支援計画の取組体制としては、期別ごとに効果的な事業施策や目標指標の検証等を行うことを目的として、関係機関や住民の代表者等で構成される幼年・就学期部会、成年・熟年期部会、高齢期部会の3つの部会、その部会の調整役である関係11課の職員で構成される事務局会、そして各部会を飛び越えた議論に発展した際に協議をする各部会の主要担当課長6人で構成する事務局会、さらに、

部会での意見を取りまとめ策定委員会へ諮る前に協議をする副市長と関係課長で構成される幹事会、最後に、最終的に審議し、計画の策定や変更を行う住民の代表者や関係機関、各部会の代表者、学識経験者などで構成される策定委員会がある。

現在の計画決定手続きの流れは、まず3部会ごとの各事務局会で計画内容を協議・精査した上で、各部会において期別に応じた計画案の協議を行う。

次に、各部会で承認を得た計画案を幹事会で確認・再協議し、最後に策定委員会に諮って計画の承認決定を行っている。

問 本計画による成果を 上げるための課題は

本計画の期別ごとの目標及び指標設定が令和2年度から令和6年度までの5年間で策定されている。

これまで本計画の見直しや変更が行われてきているが、本計画による成果を上げるための課題は。

答 市民の認知が課題

岩田 地域支援課長

人生支援計画による成果を上

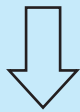
げるためには、本計画が市民の日々の暮らしに結びつくものであると市民の認知を得ることが課題であると考えている。

認知を得るためには、市民との関わりにより、新たな施策が生まれ、より充実した施策につながることを、市民と行政が共に実感し、双方向からの取り組みによって成果を上げていくことが必要である。

本計画は、市民が必要を感じるときに支援できる施策を見えやすく提供するために、多くの市民の声を反映させていくべき計画だと考えている。

本計画の周知や浸透に向けた効果的な発信の仕方に取り組みとともに、市民からの意見が施策として実現したときには、その成果を市民に見える形でしっかりと示していく。

香南市には
市民の人生を支援する
様々な施策がある



施策を知っていただくため
発信方法に工夫が必要

高齢者移動支援

問 支援策検討の 体制は

高齢者が安心して満足できる生活を過ごすためには、介護予防の面も含めて、高齢者移動支援の継続、サービスの拡充を検討する必要があります。

今後の支援策を検討するに当たって、その体制づくりは。

答 移動支援を総合的に 充足する仕組みが必要

宮崎 高齢者介護課長

高齢者介護課では、高齢者にとって介護予防となり、買い物支援となるサービスの提供を関係機関の協力を得て実施できないか検討している。

また、住民主体、ボランティアでの移動支援の受け皿づくりのための研修会の開催や、その受け皿となる組織づくりを行うために、地域に入って高齢者と地域の組織、ボランティアと行政の間をコーディネートする人材の確保が必要と考えている。高齢者の移動支援の体制づくりには、高齢者が自身の身体の状態や住んでいる地域の状況に応じて選択できるよう総合的に

充足する仕組みが必要と考える。

問 支援策検討の 方向性は

支援策を検討するに当たっては、既存の交通手段・サービスを改善する方法と、新たな移動手段を導入する2つの方法が考えられるが、どのような方向性をもって検討するのか。

答 総合的に検討

宮崎 高齢者介護課長

地域支援課では、地域公共交通編成の取り組みとして、香南市に必要な移動手段の確保について協議することを計画している。

高齢者介護課では、高齢者の生活支援、引きこもりの防止、社会参加、介護予防を組み合わせたサービスを地域に構築したいと考えている。

また、生活支援の機能に移動手段の機能を加えて、地域のニーズに柔軟に対応できる地域の拠点として県が推進する「あつたかふれあいセンター」の整備も検討したい。

教育施設の維持管理



宮城 正樹議員

問 老朽化の現状は

本市には、保育所、幼稚園、小・中学校等教育施設が多数ある。建築時期や形状等も様々だが、建築物の老朽化が顕著になる頃と考える。老朽化の現状は。

答 全体的に進行

山下 教育次長

保育所、幼稚園の主要施設の全体的な建築年及び経過年数は、園舎及びプールが昭和50年から平成21年の間に建築され、建築後11年から40年が経過しており、25年以上経過した施設が全体の50%を占める。小中学校施設は、校舎の全体的な建築年及び経過年数は、昭和45年から平成14年の間に建築され、建築後18年から50年が経過しており、25年以上経過した

施設が全体の90%を占める。

体育館は昭和48年から平成26年の間に建築され、建築後6年から47年が経過しており、25年以上経過した施設が全体の約70%を占める。

プールは、昭和51年から平成21年の間に建築され、建築後11年から44年が経過しており、25年以上経過した施設が全体の約30%を占める。

このような状況において、屋根または屋上、外壁、内壁、天井及び床、電気並びに機械の各設備も老朽化が進行しており、小規模な修繕はもとより、非構造部材の耐震化に合わせて改修する等の対応を行っている。

問 維持管理計画策定は

老朽化の改善は、教育環境の充実、公共財産保全の観点から大切であると考えながら、教育施設の修繕計画の策定は。

答 現在策定中

山下 教育次長

香南市公共施設等総合管理計画を策定し、個別施設ごとの長寿命化計画を現在策定しており、本年度中に完了する予定である。

この個別施設計画は、児童生徒の安心かつ安全でよりよい保育・教育環境を確保し、施設の保全を図ることを目的とするもの。保育所や学校施設の老朽化対策を中長期的な視点で計画的に行うことにより、財政負担の軽減や平準化を図りながら、施設を適正に管理運営することができるよう管理計画を策定する。

交通安全教育

問 実態を踏まえ改善を

通学や部活動等で自転車を利用している学生に、極少数だが危険な乗り方をしている者が見受けられる。事故を未然に防止する観点から、事故の危険性が高まる状況を具体例で示すことや、事故多発箇所などといった事故が起きているのかなど、現状の課題を踏まえ改善できないか。



答 指導を行っていく

三木 学校教育課長

自転車の危険運転を指摘する声は届いている。今年度は、新型コロナウイルスの対応の関係もあり、交通安全教室は延期または開催できないという状態である。各種交通安全指導は幅広く取り組んでいるが、学校だけの指導、取り組みでは難しい面があり地域で子どもを育てるという視点からも、ぜひ地域の人にも協力を求め、関係機関が連携して子どもたちの交通安全意識を高めていきたい。

防災士

問 登録者数は

昨今、大規模な災害が続発し、日本防災士機構への登録者数も増加し、高知県内は4526人となっている。防災士は、自主防災組織等、地域の防・減災を担う存在であるが、本市における防災士の登録者数は。

答 115人

岡崎 防災対策課長

本市における、令和2年8月

末時点での防災士登録者数は115人。前年同期より17人の増となり、徐々に増加している。

問 今後の養成に

防災士となるには、基礎講座を受講後、試験に合格するのみならず、救急救命講習を受講する必要があり、実践的である反面、取得の難易度は高いように思う。地域の防・減災の担い手であることから、今後の防災士養成は重要な課題と思われるが、本市の見解は。

答 増加に向け取り組み

岡崎 防災対策課長

防災士の養成については、県と連携し、防災士受験に必要な防災士養成講座を市内の会場で開催するなど、防災士の増加に向けた取り組みを行っている。また、防災士としての知識や技術の維持向上、及び情報共有や意見交換の場として、本市の防災士組織を設立することも有効と考え、市内の防災士に呼びかけ、設立を目指していく。

住民自治



山中 昭議員

問 なぜ組織体制が違うか

自治会・協議会の取り組みについては、旧香我美町をモデルとして進めるとしていたが、吉川町・赤岡町・夜須町においては1町1協議会と、組織が違う。そのような進め方をとったのは何か思いがあるのか。

答 10年、20年先を見据え

● 岩田 地域支援課長

各自治会を束ねる、より広域的な範囲として、旧町村や学区単位が従来からまとまりがある結びつきが強い地域と考え、それぞれ一つの協議会ということを提案した。

設立の過程では、地区代表者と様々な協議、話し合いを行う

手法で進めている。

人口減少や少子・高齢化、生活様式の多様化が進む中で、10年、20年先のコミュニケーションを見据えたものであると考える。

問 地域別の協議会を

地域独自の事業やイベントを行うことにより、地元に対する愛着心や絆が、生まれてくる子どもたち、若者たちの後継者人材育成、次世代への継承にもつながる。関わる人を増やすことでそのようなことも強くなると思う。

香南市として一定の同じレベルの組織体制、地域別の協議会を目指す方がいいのでは。



西川運動会

答 規模に規定はない

● 岩田 地域支援課長

協議会の組織化については、規模に明確な規定はない。地域によっては相違があるものと考ええる。行政が考える枠組みに限らず地域における現状の把握や、市が提案する規模でよいのかなどを地域と協議をしながら進める。

また、既に設立されている協議会において、協議会を分けたい、または統合したいなど提案があれば、地域がより活発に活動できる再編等も考えていく。

高台移転

問 計画は進んでいるか

今、夜須町では保育所及び幼稚園が認定ことも園として高台に整備が進んでいる。このことについては、消防屯所や支所等も併せて計画するとしていたが、どうなっているか。

また、二次避難施設についても、災害時に滞在できる複合施設としての整備を関係部局と具

体的な検討を始めた平成29年に報告されて以降何もなかったが、それぞれの計画は進んでいるか。

答 具体的な計画はまだ

● 岡崎 防災対策課長

夜須町の行間・菖浦谷団地西側の市有地を予定している。

避難所施設については、中長期的な避難所機能に加え、夜須支所や図書館、公民館、保健センター機能などを併せ検討を進めている。

また、浸水想定区域内に位置する夜須第一分団屯所については、同じ敷地内での別建てというところで消防本部において検討を進めている。現時点では、収容施設の検討という段階で具体的なスケジュール等は、計画できていない。

スポーツ振興

問 スポーツ少年団や各種スポーツ団体に支援策を

今回の新型コロナウイルス感

染症は、スポーツ界に大きな影響を与えている。

スポーツ少年団や各種団体においても2カ月以上の施設の閉鎖、休校等の影響を受け、再開後も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、まず個人・チーム・団体として、それぞれに感染リスクを少なくする対策がとられている。そのような経費を少しでも支援する考えはないか。

答 意見を聞き検討

● 猪原 生涯学習課長

スポーツ少年団や各種団体による練習メニューの工夫や道具等の定期的な消毒などの感染防止対策により感染を防ぐことができていっていると思う。

スポーツ活動を行う際の経費が、例年以上のものになっているのは承知している。

どのような支援が必要で、どのような支援ができるかについて、スポーツ少年団やスポーツ協会、文化協会等の意見を聞き検討する。

まち・ひと・しごと 創生総合戦略



小泉 潤議員

問 第一期創生総合 戦略の総括は

香南市の将来を考えるきっかけや人口減少問題に対する意識が高まったとあるが、具体的な効果は。

答 数値目標の達成と 共に目に見えない 成果を実感

西内 企画財政課長

数値目標の達成とともに目に見えない成果として実感したのは、夜須小学校の授業で人口減少問題を取り上げたり、城山高校ではビジネス研究部が地方創生のアイデアに取り組んだりするなど将来のまちづくりに対する市民の方々の関心度が高まったことである。

問

「ひと」について、40年後3万人に向けての取り組みは

第一期が終わる中で、自然増、社会増の目標に向けての取り組みは。

答

自然減ではあるが、人口ビジョンより減少幅は小さい

西内 企画財政課長

出生数を死亡数が上回り、自然減ではあるが、人口ビジョンより減少幅は小さい。社会増は、令和元年度に初めて人口ビジョンを上回るとともに第一期中最高となった。

この良い流れをより確かなものにしていくために、これまでと同様にライフステージの各段階に応じた切れ目のない支援、地域経済の活性化や働く場の確保、移住定住の促進などに取り組み、香南市に住みたい、住み続けたいと思ってもらえるまちづくりを進める。

問

「コミュニティ」産業振興・雇用創出への取り組みは

企業誘致など目に見えての成

果もあるが、第2期に向けての施策は。

答 製造業や事務系企業 の誘致等を行う

岡林 商工観光課長

平成30年度に香南工業団地の完売、丸三産業の操業開始。また、川谷刈谷工場用地は、先月高知ミットヨの進出が決定と製造出荷額のプラス要素が整ってきた。また、事務系企業の誘致は、昨年12月に開設したUTキャリアに続き、システム開発を手掛けるNGSが道の駅や市内にオフィスを開設。これからの雇用拡大に期待している。



香南工業団地 全景

問 「まち」について

地域の連携を重視して取り組むとあるが具体的に

答 地域の人材育成を 検討

岩田 地域支援課長

人口減少や高齢化など、自治組織の維持や運営が厳しくなり、役員の後継者不足により活動が停滞したりなど地域の様々な実情により、目標を達成していない現状がある。今後は新たな人材の育成や掘り起こし、地域間を超えた情報共有を強化する取り組みを進める。

市バスの運行

問 土佐山田駅や 空港への延伸は

現在市バスは、市内の循環運行をしているが、枠を広げ土佐山田駅や高知龍馬空港への延伸は考えていないか。

答 県や関係市町村と 連携し検討する

岩田 地域支援課長

平成29年に香南市と香美市を結ぶ路線バスについて、香美市の担当者へのヒアリング、山田高校の生徒のアンケート調査を実施し検討しているが、運行協議には至っていない。高知龍馬空港を結ぶ輸送手段は、高知県と県東部11市町村と交通事業者や学識経験者などで構成される協議会で作成した高知県東部広域地域公共交通網計画で主要施策として掲げられている。需要調査や試験運行などが計画されており、県や関係市町村と連携しながら継続して検討していく。

問 市バスの利用 促進策は

答 工夫した情報発信 を定期的に行う

岩田 地域支援課長

利用促進に向けた周知活動は、広報誌によるお知らせや担当者が利用方法を説明する地区別説明会を行っている。また、観光協会のフェイスブックやインスタグラム、ケーブルテレビを活用したバスの紹介など、身近な移動手段として利用促進につながる取り組みをしていく。

防災施策



宮崎 晃行議員

問 防災情報の周知は

日本に在住している外国人は、日本語が未習熟であったり、土地勘がなく日本の災害のことをよく知らないことも多いため、災害弱者と位置づけられている。

本年7月初めの大雨の際、本市在住の外国人が防災無線での情報が分からず、怖かったとの声を聞いた。本市の外国人に対して防災情報はどのように周知されているか。

答 できている

岡崎 防災対策課長

本市における災害時の情報伝達手段としては、防災行政無線による放送や登録制メール配信サービス、エリアメール、ホームページへの掲載等がある。防災マップや津波ハザードマップ等の防災情報もあるが、外国人

を対象とした多言語化等の対応は現時点ではできていない。

問 参加状況は

外国人のための防災訓練や外国人が企画した防災訓練を実施している自治体もある。訓練により、日頃から助け合える関係づくり等、訓練以外の意義もある。

本市の外国人の防災訓練への参加状況は。

答 元年度は11人

岡崎 防災対策課長

毎年行っている香南市総合防災訓練の最初に行われる一斉避難訓練で、平成30年度は全体参加者3978人のうち外国人は13人、令和元年度は全体参加者3844人のうち11人の外国人が参加。

問 防災情報 多言語化は

全国的には、防災情報の外国人への伝達の多言語化に取り組む自治体が増えている。

本市でも、例えば、英・中・韓の3か国語の防災行政無線の放送などをあらかじめ用意し、アナウンスすること等は検討できないか。

答 HP等で検討する

岡崎 防災対策課長

防災行政無線やメール配信などの情報配信については、全員に同じ情報を発信することになるので、複数の言語を使用することにより放送時間が長くなったり、入力文字数の制限を超えてしまうなど、現段階では対応が難しい。

現在行っている情報伝達手段や防災マップ等について、できる部分の多言語化や市のホームページでの防災情報掲載時の多言語化を検討する。

福祉施策

問 取り組みは

本年6月に成立した地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律に規定された重層的支援体制整備事業にどのように取り組むか。

答 詳細が示されてから協議する

西内 福祉事務所長

ひきこもりが長期化し、本人が50代、親が80代で生活が困難するといった問題を抱えた8050問題等、1つの世帯において複合的な課題がある場合、包

括的な支援体制で継続的な伴走型支援を行えるようにする体制は必要であると認識している。

重層的支援体制整備事業については、8月に県の担当課の地域福祉政策課、県社協、香南市社協と本市で4者協議を行った。

ただし、事業内容の詳細がまだ国から示されていない。詳細が示されてから、関係機関と協議していきたい。

窓口行政

問 課題は

身内が亡くなった際の手続きは、家族は悲しみの中で行うことになる。市役所内の申請書の種類も関係窓口も多く、遺族にとって心の負担になりかねない。本市の手続きでの課題はあるか。

答 大きな課題はない

恒光 市民保険課長

市役所内の手続きも各課にまたがり、長時間かかることが多いことや、個々に内容が違ったため分かりにくく、遺族の負担も大きいと思われる。

案内漏れ等で何度も来庁する必要のないように、また、遺族

の負担を少しでも軽減するため、事前に各課や年金事務所など必要機関に問い合わせをし、チェックリストを個人ごとに作成し、各支所とも共有できるようにしている。この事前の情報収集により、手続き漏れは減っている。

新庁舎になり、ローカウナーが増え、ゆったりと腰を据えて、時間のかかる手続きを進められるようになった。

以前と比べて、遺族の負担も軽減され、また、手続き漏れも少なくなったことから、再度の案内の必要も減り、職員の事務負担も軽減されていると感じている。

以上のことから、現在のところ大きな課題はないと考えているが、今後も必要に応じて見直しをしていきたい。



市役所窓口のローカウンター

防災対策



岡本 司議員

問 大規模災害時の水とトイレの確保は

今現在、南海トラフ地震対策としていろんな施策が進んでいるが、避難所の耐震貯水槽・災害用貯留式トイレの整備計画は。

答 順次整備を進める

岡崎 防災対策課長

南海トラフ地震に備え、地震津波に対する指定避難所25カ所に、本年度より5カ年の計画で、耐震性貯水槽、災害用貯留式トイレの整備を行っていく。

本年度は、佐古防災コミュニティセンター、富家防災コミュニティセンター、野市総合体育館、山南防災コミュニティセンター、香我美トレニングセンターの5カ所を計画しており、

現在、設計業務を実施している。

令和3年度は、野市東小学校、野市図書館、香我美小学校、山北公民館、香我美市民館の5カ所の整備を予定しており、残る15カ所についても、令和4年度以降、順次整備を進めていく。

問 避難所の指定理由は

のいちふれあいセンターを風水害だけの避難所としている理由は。

答 現時点では考えてない

岡崎 防災対策課長

のいちふれあいセンターは、現在、新庁舎が新しくなって耐震性等が確保された状況となっているが、大規模災害発生時などの本庁舎が被災した場合の災害対策本部の代替施設、また、各機関からの応援チームが来た場合の拠点などとしての使用を現在検討しており、現時点では大規模災害時の避難所としての使用から外している。

問 十分のスペースでは

新庁舎が建ち、全ての課が集まって、スペース的に使えるのなら大規模災害時に避難所として使えないか。

答 再度検討する

岡崎 防災対策課長

現時点では、大規模災害時の指定避難所からは外しているが、今後は、本庁舎も充実したので、使用方法については再度改めて検討していきたい。

公園問題

問 公園整備は可能か

今後、野市町にある程度の広さの公園を整備するとなれば、金額、面積等を考えるとなかなか難しいが、どう考えているのか。また、のいち動物園の下に遊具のある公園があるが、そこを整備し、子育て中の保護者の方の入場料を市が負担し、動物公園を利用できないか。

答 検討しよう

野島 建設課長

野市町には60カ所の公園があり、その大半が宅地造成時に整備された小規模な公園で、地域住民の憩いの場となって利用されている。今後、野市町への公園整備ということだが、ある程度の規模の公園で、遊び場、憩いの場、緑地スペースなどの多様な機能を持たせた公園を整備するとすると、公園建設に必要な一定の広さの土地や建設に係る用地費、造成費、遊具設置費など多額な費用がかかり、現時点では、公園の新設については容易ではないと考えている。



野市町墓地公園

答 積極的に考える

清藤 市長

公園を建設してほしいとの要望が寄せられていることから、既存の公園の再整備や機能拡充等ができないか検討したい。

のいち動物公園をどのように活用できるのかということも、今後、関係各局と協議、検討していきたい。

口コミサイトのトリップアドバイザーで2回、今年も1位を取った。動物公園をあまり連想しない動物公園で、入ってもゆったりとしており、ピクニックサイトがあり、芝生広場があり、ベンチを整備した休憩所が多数あり、こういうところが評価を得たと思う。イコール、公園の機能が充実しているということではないかというふうに思うので、提案については、ひとつ非常に有効なことと思うが、県立公園なので、どういった形ができるのかというのを県の担当課にも投げかけて、今後市としても積極的に対応していきたい。

平和行政



樽本 富佐子議員

問

「非核平和都市宣言のまち香南市」の懸垂幕はいま、掲げないのか

今年是被爆75年の節目の年。日本は世界で唯一の被爆国であり、核兵器廃絶は世界共通の願いである。旧庁舎にはずっと掲げられていた懸垂幕が、庁舎改築に伴って外されている。

市の姿勢を広く市民に知らせるためには、1年中通して掲げることには意義があると考えます。

議会でもこれまでそのように答弁してきているが、新庁舎が完成しても外されたままになっているのはなぜか。

答

期間限定の広報を優先する

北村 総務課長

掲げる場所が2カ所あり、現

在2カ所とも掲げている。一定期間が経過したら、「非核平和都市宣言のまち香南市」の懸垂幕を掲げる。

問

展示スペースの活用計画は

展示コーナーは現在どのようなに使われているか。市としての年間計画は。

答

各課と協議して対応していく

村山 住宅管財課長

常設の展示コーナーはないが、1階ロビーと2階情報コーナーに設けることができる。また、2階から6階のエレベーターホールにもパネルやポスターを掲示できる。

問

平和に関する企画展の計画は

今年8月に、生涯学習課が主催して「夜須の少年兵が残した漫画と絵手紙展」が野市図書館で開催された。空への憧れから海軍航空隊に入隊し、わずか19歳で戦死するまでに家族に送った手紙や漫画は、大変感動的であった。夏休み中であり、親子

でゆっくり鑑賞している姿に胸が熱くなった。

8月はもちろん、12月8日の開戦の日、3月8日のビキニデーなど、年間を通して展示を企画していく予定は。

展示内容により、検討していきたい

猪原 生涯学習課長

今回の企画展には50人の入場があった。夢と希望をもって戦中を生きた地元の若者のことを通して、平和の大切さを考えるきっかけになったものと思っている。企画展は今後においても展示物の管理の面から図書館での開催となる。新庁舎での展示は、内容により考えていきたい。

教育条件整備

少人数学級実現に向けた取り組みは

多様な子どもたちに寄り添い丁寧な育てていくためには、20人以下学級が望まれる。三密を避けるためにも重要であり、教職員もゆとりが生まれる。国や

県に向けた働きかけや本市としての取り組みを問う。

定数改善や加配教員の配置を要望していく

入野 教育長

国の基準で定数は決められ、それを基に教職員の配置が行われる。業務内容の精選やマネジメントにも限界があり、教職員の増員は望んでいる。緊急事態にも対応でき児童生徒にとってバランスのよい教育環境になるよう要求していく。

支援員は配置されているか

国の補正予算で、生涯学習支援員が12人、校務支援員が7人配置されることになったが、現状はどうか。

配置できていない学校が多い

三木 学校教育課長

ハローワークへの求人募集はもちろん、教職員の知人など探しているが、学習支援員は1人、校務支援員は5人しか配置できていない。できるだけ早く追加配置ができるように努める。

ジェンダー 平等社会の実現

資料作成の際に配慮したことは

第2期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に当たって、子どもや若者の意見を取り入れようとしていることは、全国的にもあまり例がなく、大いに期待されるものである。

写真やイラストなどは、固定的なメッセージを与えてしまうことがあるが、検討したか。

固定的な表現がないよう精査している

西内 企画財政課長

次世代を担う子どもや若者の思いや意見を引き出し、施策立案に生かせるよう、本年度からアンケート調査を実施する。作成に当たっては、策定委員会や関係各課それぞれの視点での意見を出してもらっている。

分かりやすい表現か、読みやすい字体かだけでなく、性別による固定的な表現がないか男女共同参画の視点にも配慮している。

介護保険制度



馴田 文雄議員

問 制度発足20年

介護保険制度が発足して20年になる。この20年で要介護認定者は2・6倍になり、要介護者の家族構成も20年前は3世代同居が最も多かったが、現在は同居と高齢者のみの世帯が1位と2位を占め、合わせて過半数となっている。

制度面では利用の制限や負担増など改悪といえる側面が多かったのではないかと。

本市は合併して14年半にわたって介護保険事業に携わってきたが、その中で感じた変化や課題などはあるか。

答 介護給付費が増加

宮崎 高齢者介護課長

第一号被保険者の高齢化、介護認定者数の増加から、介護

サービス給付費が大きく増加してきた。

こうした中、第6期計画から、訪問介護と通所介護の予防給付から地域支援事業への移行、特別養護老人ホーム新規入所者の要介護3以上の限定、一定以上の所得のある利用者の自己負担の2割への引き上げなどが行われてきた。また、第7期からは2割の人でさらに一定以上所得のある人は、自己負担が3割となっている。

一方で、低所得の被保険者には、公費の投入により、介護保険料の軽減措置が行われてきた。

制度の維持においての課題は、増加し続ける介護給付費の増加や介護従事者の不足である。

問 介護保険料

介護保険料は全国平均でも発足時から約2倍になり、保険料負担は限界ではないかという指摘もある。市としての保険料水準についての考えは。

答 設定方法は適切

宮崎 高齢者介護課長

合併以来の本市の介護保険料の伸び率は27・6%となっている

る現行の本市の保険料は、全国平均からは109円低く、高知県平均よりは178円高く、県内30市町村の16番目という平均的な水準。

また、保険料の設定は厚生労働省の「見える化」システムを使って推計しており、適切な方法での水準と認識している。

問 今後の方向は

今後、事業運営で重要になってくることは。

答 認知症カフェの充実など

宮崎 高齢者介護課長

自宅での生活が継続できるよう、通所介護でのリハビリテーションの導入が必要となる。

また、いきいきクラブや自主体操グループの活動の充実、独居高齢者の外出支援や、ごみ出しなどの生活支援の取り組みを進めることも重要。



自主体操グループ

気候 非常事態宣言

問 宣言の検討を

地球温暖化がこのまま進めば、今世紀末には国内で最高気温が44・1度を記録し、台風も最大で80ヘクトパスカル、最大瞬間風速90メートルまで成長すると予測されている。

こういった状況への危機感を住民と共有し、さらなる対策を講じるため「気候非常事態宣言」を行う自治体も出てきている。

本市でもこのまま温暖化が進めば今世紀末には温州ミカンの作付け適地がなくなることなどが予測されている。本市としても気候非常事態宣言を検討すべきではないか。

答 既存の計画で

寺内 環境対策課長

本市では香南市環境基本計画の基本目標に、気候変動対策として、省エネ・新エネの推進、

低炭素まちづくり推進、省エネ行動の推進を位置づけ、香南市地球温暖化対策実行計画に基づき取り組んでいる。

今後この取り組みを通して気候変動に対する適応策の検討や啓発に努めていく。

空き地対策

問 今後の取り組みは

空き地についての相談をよく伺う。代替わりなどにより所有者が遠方において管理が困難というところもよく聞く。全国的には、自治体が費用を立て替えて草刈りを行い、後で所有者が支払っているところや、ふるさと納税の返礼品の一つとして、土地の管理を行っているところもある。本市の今後の空き地対策を問う。

答 先進事例研究したい

寺内 環境対策課長

本市では空き地の所有者に対して適正に管理のお願いをしたり、草刈りの委託先を紹介している。

今後は他自治体の先進事例を調査・研究したい。

道路管理



北本 洋介議員

問 春赤線の整備要望

県道春野赤岡線に沿って整備されている歩行者道及び自転車道は、雑草に覆われて歩行者の通行を妨げているが、県土木への除去等の整備要望活動状況は。

答 維持管理等を業者に委託

野島 建設課長

県道の維持管理は、中央東土木事務所が、年間を通じ維持管理及びパトロール業務を業者に委託し、修繕等が必要な箇所は適時対応。歩行者が歩道を通行する際の障害や、車道の通行時においても歩行者を確認しがたい危険な箇所もあることから県に除草を申し入れ、今月中にはすべて草を刈り取ると連絡を受けている。

河川改修

問 旧香宗川の整備要望

香宗川の河川改修は、香宗川改修期成同盟会による要望活動を行っているが、赤岡町民グラウンドから西側へ蛇行して県道春野赤岡線に沿って流れている、旧香宗川流域に成育している雑草・雑木の除去等の整備要望活動状況は。

答 河川環境の整備、取水事業の推進を図る

野島 建設課長

旧香宗川では、土砂の堆積や雑草・葎が著しく繁茂している箇所が点在し、河川の流下能力を低下させ流水が阻害される状態が懸念されている。また、近年の異常気象による豪雨等の河川増水で流域の床上浸水や施設園芸等への浸水による甚大な被害も懸念されている。県に対しては、昭和43年から香宗川改修期成同盟会による地域の声を県に伝え、県・市が一体となって河川環境の整備、取水事業の推進を図ることとしている。

問 歩行者道及び自転車道の併用道の整備

第二期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の中、観光、交流の促進としてサイクリングの活用とあるが、県道春野赤岡線の吉川町付近の歩行者と自転車が行き交える併用区間の整備はできないか。

答 県に強く申し入れる

野島 建設課長

香宗川と並行して走っている県道春野赤岡線の併用区間に雑草が覆いかぶさっているところについては県に強く申し入れる。

学校施設

問 香我美小学校のプールの改築

香我美小学校のプールの破損状況を確認したが、原因究明のため、プールの底面を剥がし、改修すると言われた。一社の設計業者の判断だけで、改修をするのか。他の業者の判断等も考慮した改修にしないのか。

香我美小学校のプールの破損状況を確認したが、原因究明のため、プールの底面を剥がし、改修すると言われた。一社の設計業者の判断だけで、改修をするのか。他の業者の判断等も考慮した改修にしないのか。

答 複数の業者に相談

三木 学校教育課長

香我美小学校のプールは昭和51年に建築し、44年経過しており、大プールや補助プール、更衣室や便所、機械室濾過機、減菌機等の機械室が整備されている。プールは、大小共に「コアルミニウム」の素材でできていて、更衣室を含む付属棟はコンクリートの平屋建てとなっている。平成22年度にプール槽内の塗装の塗り替え、プールサイドの改修工事を実施。大プールにおいて排水溝とプールの底板との継ぎ手部分の2カ所が破損している、その板から水が噴き出す状態になっていた。その後専門業者に現地確認を依頼し対処方法を協議し、部分的な改修を行っても児童及び教職員の安全確保を図ることが困難と判断した。現在、複数の業者に部分改修が可能か相談をしている。

地下水保全

問 香南市地下水保全条例

本市には、旧吉川村時代の「吉川村地下水保全に関する条例」があるが、今回の条例は先

「吉川村地下水保全に関する条例」があるが、今回の条例は先の条例を改正したものか。また、以前の条例では、中止命令や、撤去命令に促わなければ、1年以上の懲役または、100万円以下の罰金、地下水採取に関する指導や施設改善命令に促わなければ、6カ月以下の懲役または、50万円以下の罰金となっていた。今回は命令に違反したものは、50万円以下の罰金であり、取水量の制限も違反すれば5万円以下の過料と処罰している。こうした条例は、ほかの市町村でうたわれているか。

答 県内他自治体にはない

寺内 環境対策課長

吉川村地下水保全に関する条例の改正ではなく新たに制定するものである。香南市地下水保全条例では、地下水の汚染は最も重大な問題であり、汚染物質の除去等の措置命令に違反したものは、50万円以下の罰金。高知県内には地下水保全条例はないが、今回、香南市として地下水の汚染に対し厳しく罰則規定を設けている。

高額療養費 支給申請



土居 りえ議員

問 申請方法は

国民健康保険の70歳から74歳までの被保険者が同じ診療月内に医療機関を複数受診し、医療機関に支払う医療費が一定額、自己負担限度額を超えた場合、その超えた額は高額療養費として払い戻されるが申請方法は。

答 窓口申請

恒光 市民保険課長

申請には、支給対象月に医療機関等に支払った領収書を提出してもらい、医療費の支払いがされているか、また診療報酬明細書に記載されている一部負担金額と実際に支払われた一部負担金額の突合などを行っていき申請手続きは各支所でもでき

問 簡素化の検討は

2017年に国民健康保険法施行規則の一部が改正され、70歳から74歳までの被保険者の高額療養費支給申請について、市町村の判断により手続きを簡素化することが可能となっている。他県では、自動振込方式を導入する市町村が増えているが本市の考えは。

答 県内市町村の 動向を見据え検討

恒光 市民保険課長

簡素化の対象となるのは、世帯内に70歳から74歳までの被保険者しかおらず、世帯主も70歳以上である場合に限られているため、同じ世帯で70歳未満の被保険者が国保に加入すれば、対象から外れることとなり、70歳未満の世帯員の国保への加入・脱退の状況によっては、簡素化の対象・対象外を繰り返すこととなり、かえって煩雑になり負担が大きくなるのが考えられる。県内の市町村は、どこも簡素化に踏み切れていないのが現状だ。

防災減災施策

問 防災重点ため池の 周知は

令和元年4月に、農業用ため池の管理及び保全に関する法律が制定され、その基準のもと本市においては9カ所が防災重点ため池と選定されている。周辺地域住民への周知はどのように行っているか。

答 今後広く周知する

野島 建設課長

市ホームページ上で平成26年2月に掲載し、また、県のホームページ上においても、令和2年6月のため池マップとして、農業用ため池の情報を適切に把握し、緊急時の避難行動につながる対策情報として、位置や貯



池ノ本ため池

水量、浸水面積などの情報を記載し、周知を図っているが、ため池管理者以外の地域住民への周知は十分でない。

問 避難所以外への避難者の 状況把握は

内閣府や本市においても避難とは、難を逃れることであり、必ずしも避難所に行くことではなく、安全な場所に逃げることで広報している。避難所以外に避難する人の把握はどのようにするか。

答 現時点では困難

岡崎 防災対策課長

安全に寝泊まりの行える自動車による車中泊についての検討と合わせ、車中泊の行える場所などの検討も行っており、避難場所として、避難状況を把握でき

るスペースの確保を進めている。開設する避難所や避難場所以外へ避難し、情報が全くない場合においては、個々の避難状況を把握することは困難な状況にある。

問 被災者アセスメント 調査票の活用は

避難所以外での避難者が今後、本市でも増えることを想定して、どこに避難しても安否確認が取れて、状況把握をどのようにするのか、あらかじめ検討する必要がある。厚生労働省と内閣府防災担当が設置した医療・保健・福祉と防災の連携に関する作業グループが作成した、被災者アセスメント調査票が有効であると言われているが活用の考えは。

答 改善に向けた 参考に

岡崎 防災対策課長

本市においては避難所運営マニュアルの中で、避難所の受け入れ段階で避難者カードを作成することとしており、避難者の住所、氏名などの情報とともに、アレルギーや身体的な情報なども把握することとしている。避難者アセスメント調査票では、それに加え、自宅の被災状況や、現在の滞在場所に関する記入欄があり、避難所以外に避難している方の把握も行うようになっているので、今後は、この調査票を改善に向けた参考にしたいと考えている。

各委員会の開催状況

【8月】

6日

議会だより編集委員会

(市議会だより【No.56】の記

事取材等)

17日

議会だより編集委員会

(市議会だより【No.56】の編

集等)

21日

議会運営委員会

(第92回香南市議会定例会の

会期及び会議の予定・意見書の

取り扱い等)

25日

工業用水対策特別委員会

(香南工業用水道事業・環境整

備事業等の進捗状況・地下水涵

養・事前事後対策・香南工業用

水道の施設・運転状況の報告等)

26日

議会運営委員会

(陳情の取り扱い等)



【9月】

4日

議会だより編集委員会

(市議会だより【No.56】の編

集等)

9日

議会運営委員会

(本会議の運営等)

14日

議会運営委員会

(第92回香南市議会定例会の

追加議案等)

決算審査特別委員会

(正副委員長の互選等)

産業建設常任委員会

(第92回定例会付託議案審査

6件等)

15日

教育民生常任委員会

(第92回定例会付託議案審査

8件等)

産業建設常任委員会

(第92回定例会付託議案審査

6件等)



決算審査特別委員会設置

令和元年度香南市一般会計決算認定から、令和元年度香南市簡易水道事業会計決算認定までの9議案については、議長と議会選出監査委員を除く17人をもって構成する決算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することになった。

委員長

宮崎 晃行 議員

副委員長

土居 りえ 議員



決算審査特別委員会

本会議を傍聴してみませんか？

市議会は、市民の皆様の生活に関わる

重要な事項を議決しています

「一般質問」や「議案審議」など

議場での様子をぜひご覧になってください

議会開催当日に受付の先着順にて、個人でも団体でも自由に傍聴できます。

なお、傍聴席数に限りがありますので、団体で傍聴される際は、

事前に議会事務局（TEL0887-57-8513：直通）までお気軽にご相談ください。

（※現在は新型コロナウイルス感染症予防のため、マスク着用をお願いしております。）

特集記事

香南市議会だより編集委員会では特集記事を連載しています。

市内の特色ある事業や取り組みを取材し紹介することによって市民の皆様にとって有意義な情報を発信するよう努めています。

今回は、野市町西野にある高知職業能力開発短期大学校（ポリテクカレッジ高知）を取材してきました。

※以下、高知職業能力開発短期大学校をK P C（Kochi Polytechnic College）と表記します。



ポリテクカレッジ高知

特集

キミの未来を
創りたい！

ポリテクカレッジ高知
(K P C)を取材！

貴大学の歴史や目的を
教えてください。

❶ K P C

本年4月、本校は開校26周年を迎えました。前身の安芸総合職業訓練校がこの地にK P Cとして専門課程を設置し、以来、訓練学科の再編や運営母体の改組等を経て現在にいたっています。本校の目的は、高度なものづくりを支える人材を育成すること



インタビュー風景

❷ K P C

め、実学融合の教育訓練システムにより、ものづくりの基本を習得した高度実践技能者を育成することです。最新の技能・技術に対応できる人材を育成することを通して地域の産業の基盤づくりに貢献していると自負しています。

貴大学校の特徴は。

ものづくりの現場に密着した訓練環境を整備し、充実した実験・実習設備で少人数制による教育訓練を実施しています。また、企業の実際の生産現場においてインターンシップを行い、地域産業界との連携に重点を置き、人材ニーズに直接対応した教育訓練を行っています。さらに、学生に対するきめ細やかな就職支援により、毎年ほぼ100%の就職実績を上げています。

本校の大きな特徴は、授業時間にあります。工業系大学の授業時間が4年間で3000〜3200時間であるのに対して、本校は応用課程も含めると5600時間になります。特に実験・実習時間が全体の約60%に及んでいますので、理論と技術だけでなく高度な技能が習得できるところが大きな特徴です。

どのような学科がありますか。

❸ K P C

電子情報技術科と生産技術科の2つの訓練科を設置しています。

電子情報技術科は定員30人で、スマート家電や自動車等に利用されているセンサ回路に必要な基盤設計や回路設計を学び、電気・電子回路技術及びそれらの制御技術を習得します。

また、プログラミング技術やLANケーブルやネットワーク構築に必要な知識と技術を学び、通信ネットワーク技術を習得します。

生産技術科は定員20人で、機械設計・加工技術、また、自動化・省力化に対応できる制御技術を習得します。3次元CADや3次元測定機等の技術を身に付け、溶接訓練を実施したり、ロボットの設計・製作も行います。両学科とも在学中に様々な資格を取得することができます。

取得した資格はもちろん社会で大きく生かされますが、仲間とともに切磋琢磨して、励ましながら学び、友情を育んだ本校での思い出もまた、学生たちが社会で生きていくうえで大きな糧となっていると思います。

貴大学校の魅力をお伝え
ください。

❹ K P C

本校は2016年から就職率100%を継続しています。また、年間授業料が39万円と安価である一方、授業時間が豊富です。充実した実験・実習設備や全国に設置されているポリテクカレッジとの情報共有により、最新の知識や技術を得ることができます。

特に実験・実習時間が約60%に及び、その中で身に付けた能力により、卒業後は即戦力のエンジニアとして活躍が可能です。さらに、応用課程に進学することにより4年制大学卒業と同じ処遇での就職をすることもできます。



生産技術科「接合実習」
パソコンを活用した授業風景

ぜひ、本校で自身の未来を切り開いてください。

学生はどのような生活を送っていますか。

IKPC

年間1400時間の豊富な授業時間ということは、言い換えれば皆さんの科目の習得が必要になります。1時限10分授業がほとんど毎日4時限あり、8時50分の始業から16時30分の終業とハードスケジュールです。終業後はサークル活動やアルバイト等をするといった生活スタイルを送る学生が多いようです。

学生の4割弱は寮生で、日曜日以外は3食付の寮生活を送っています。夜間や土日にアルバイトをしたり、土日祝日は自宅へ帰宅してゆつくりする学生もいます。

ものづくりフェスタについて教えてください。

IKPC

主に小学生等を対象に、ものづくりの楽しさを知って興味をもってもらうための体験型イベントを毎年開催しています。

ものづくり体験教室や大学の紹介・展示、県内の工業高校



ボンボンマスクット ハーバリウム ランプシェード イルミネーションボード コマ
ゴム銃 エンピツ立て マイ・コード 動物クラフト セパタクロボール
真ちゅうメダル シルエットアクセサリ 手すき和紙 新聞紙バッグ プラ板キーホルダー

ものづくりフェスタ ものづくり体験テーマ

や高等技術学校の作品展示、県内企業の製品展示、こーにゃん体操、スタンプラリー、高知うまいもん大集合、バルーンアートなど豊富なメニューを用意しています。

小学生や未就学児童など、家族連れでたくさん来場し、楽しんでいただいています。

今年度は、コロナ禍の影響で中止したのですが、平成17年から15回連続で開催しています。最近では入場者も1千人規模となっており、香南市の一大イベントとなりました。

学生の中には、このフェスタに参加したことがきっかけで入学した学生もいます。

修了生の進路は。

IKPC

おおよそ、修了生の4分の3が就職、4分の1が進学という割合です。

就職希望者は、2016年度から2019年度まで4年連続100%の就職率です。7〜8割は県内企業への就職です。

進学する学生は、専門性の拡充が主な目的で、大卒相当の資格を持って、かつ、大卒と同程度の処遇にて就職したいという目的もあるようです。

また、ものづくりの先生になって、教鞭をとり後進の育成をしている修了生もいます。



電子情報技術科 求人票掲示板

修了生の評価は。

IKPC

修了生からは大学校に対する

様々な声が寄せられています。

「答えを急がず、冷静になってじっくり考えることを大学校で学びました」「大学校で身に付けた『答えは一つではなく、複数ある中から最良のものを自分で見つけていく実践力』が、現在役に立っています」「優秀な先生のご指導のおかげで、現在の自分があると思っています」「大学校で様々なプログラミング言語を学んだことがとても役に立っています」「会社で仕事をしていくうえでの基礎的なことを大学校で学び、習得したことが良かったです」「現場では、大学校の修了生は即戦力として期待されていると感じます」等の声が寄せられています。

皆さん、大学校で学んだことを生かして社会で活躍されています。

修了生の多くから大学校に対する感謝の声をいただき、教職員一同喜んでいきます。

社会人を対象とした研修について教えてください。

IKPC

「能力開発セミナー」と称して、在職者の方々のスキルアップを目的に実施されています。機

械分野、電子・情報分野、電気分野等、多くのコースを用意しています。

受講後、アンケートを実施していますが、95%以上の満足度で、高い評価をいただいています。

日程が合わない場合、また、自社の生産現場に即した研修を実施したいという希望をお持ちの事業主様には、オーダーメイドのセミナーを実施することも可能です。お気軽に相談していただければと思います。

新型コロナウイルスの影響は。

IKPC

幸い、今のところ学生や教職員及びその家族からの感染者はありませんが、国の施策に合わせて4月20日から5月20日まで休校し、全学生に自宅待機の措置をとりました。その期間中は、職員も業務運営に必要最低限の人員のみ勤務させ、交代制で自宅待機し、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めています。5月21日からは、職員は通常勤務に戻し、学生は通常授業を開始しました。マスク着用、手洗い励行、3密回避等の授業展開に戸惑いながらも

5カ月が経過し、学生もだいぶ慣れてきました。
気が緩まないように、再度新しい生活様式の徹底をしていきたいと考えています。

貴大学校の今後の方向性は。

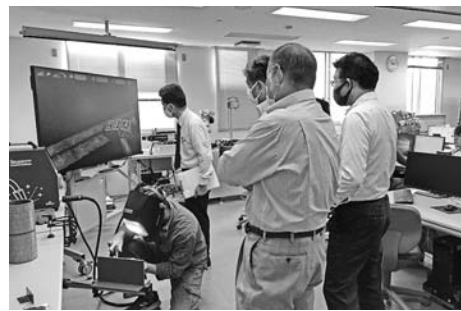


「地元からお預かりした人材を、実学融合の教育訓練を通して大切に育て、高度な産業人材として地元にお返しする」ことを目指し、開校以来約16000人の実践技能者を輩出してきました。修了生の活躍によって信頼と実績を得ることができてきており、その結果、受け入れていただいた企業からの求人申し込みが継続されて、毎年本校の修了生の就職枠を確保していたなど、本校の高い評価が県内企業に根付いてきています。

これもひとえに、香南市の関係機関、高知県工業会及びその傘下の企業や地元企業の支援、そして、OB・OGの活躍の賜物であると感じています。

今後も、香南市の関係機関や高知県工業会及びその傘下の企業や地元企業と連携を図りながら、産業界や地域社会の期待や要望に応えて、人材育成を担う

役割と使命を果たすよう前進していきたいと考えています。



生産技術科
AR(拡張現実)溶接トレーニングシステムの実演

貴大学校から見た香南市の印象は。



住宅地の造成や企業誘致も積極的に行われているので、高知県内の市町村で唯一人口減少に歯止めがかかっていると認識しています。

また、衣食住が整った住みやすいまちだと実感しています。

さらに、高知市までの公共交通機関の利便性が良く、高知龍馬空港までも乗合タクシーが運行しているので飛行機も利用しやすいと感じています。

これからも、このような特色や利便性を生かし、発展を続けてほしい。

香南市に期待する点や要望は。



三点要望させていただきます。

一つ目は、県外、市外から、さらに企業誘致を図っていただきたいことです。特に、電子・情報分野の関係企業の誘致を希望したい。本校の修了生も必ず、それらの企業の発展に貢献できると思っています。

二つ目は、公共交通機関の増便や、空港とのアクセスの向上です。バスの開設や、空港のいち駅間で自転車便を新設し、のいち駅で乗り捨てたり、または逆に空港で乗り捨てができたら便利だと思います。そして、空港周辺の駐車場の無料化なども希望したい。

三つ目は、香南市の観光地や観光施設、また、特産物等をこれまでと違う視点でアピールしたらいいと思います。SNSを積極的に活用して、インパクトのあるアピールをすれば効果があると考えています。

青年にメッセージを。



高知県内の高校を卒業される

皆様並びに卒業された皆様、今後の長い人生設計をする少しの間、本校で自分の将来目指す「夢」「やりたい仕事」を見つけてみませんか。

高校までのこれといった目標を持たずに漠然と経過した時間を振り返り、自分の「やる気」と「努力」で限らない可能性へ続く「希望ある目標」に向かってスタートしよう。「やる気」の気持ち忘れずに「努力」を怠らなければ、自ずと結果はついてくるもの。言うは簡単、実行に移すのはなかなか大変です。

受け身の体制から積極的に行動できるよう、全面的にサポートするのがポリテクカレッジ高知です。

さあ、一緒に夢を実現させましょう。



電子情報技術科
「マイクロコンピュータ工学実習」プログラミング作業中の学生に取材

インタビュー後記

取材中に、大学校内を案内していただき、校内の色々な設備を紹介していただきました。その中で、最新鋭の機械を使って、様々なスキルを磨く一生懸命な学生の表情が印象に残りました。

声をかけると、将来の夢を、目を輝かせながら熱く語ってくれました。その口調には、学友と切磋琢磨しながら勉学や実習に挑戦する日々の充実感が溢れ、好感を覚えました。この大学校から青年たちの未来が大きく広がりが、きっと、激動の社会を切り拓いていくのだろうーと思うと、とても感動し、今でも、その感動は私の胸に消えることなく残っています。

このような素晴らしい大学校が香南市にあることを誇りに思っています。また、取材で出会った青年たちのためにも、香南市をより良いまちにするため、さらなる決意で、議員として働かなければならないとの思いを深くしました。

取材に協力してくださった校長はじめ教職員の皆様、学生の皆様、本当にありがとうございました。



お知らせ

12月定例会の開催予定

- 11月30日（月）
9時30分から市長の諸般報告・議案審議
- 12月8日（火）・
9日（水）・10日（木）
9時30分から一般質問
- 12月11日（金）
9時30分から議案質疑・付託（一部議案の審議）・委員会審査
- 12月11日（金）・14日（月）
9時30分から委員会審査

※前号（こうなん市議会だより No.56）にて掲載されたスケジュールより開会日に変更になっておりますので、ご注意ください。



編集後記

残暑残る9月だが、猛暑日
が毎日毎日更新される。暑
さ、寒さも彼岸までという
が、まだまだ暑い日が続き、
秋が待ち遠しい。

新型コロナウイルス感染症
により、生活様式も大きく変
化しつつある。様々なことが
囁かれる中、本当のことは何
なのでしょう？以前の生活
に戻れることを本当に願う。

そのためにも、人類が一丸
となつてこの脅威と向き合
い、戦い、笑顔の幸せな日々
を取り戻さなければ、今後、
少子化も大きく進むだろう。
「負けない、

新型コロナウイルスに」
（中屋和彦）

